

東京大学教養学部附属教養教育高度化機構社会連携部 実証的実践 主観科目 全学自由研究ゼミナール (担当: 岡本 佳子)

図書館の学び・活用・提案 (こまとちゃんゼミナール)



「図書館の学び・活用・提案」(通称「こまとちゃんゼミナール」)は、東京大学教養学部で2017年から開講している授業です。教養学部生のホームライブラリーとなる東京大学駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、駒場図書館と利用者である学生の協働や、学びのあり方について考えます。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館や東京大学本部情報基礎課学術情報チームからの協力を得て実施しています。

こまとちゃんゼミナールの特徴

- 駒場図書館について学ぶ授業です!

東京大学の1、2年生がホームライブラリーである駒場図書館を使いこなせるようになるのが目標です。教養課程教育の一環として、図書館での授業実施、資料内での駒場図書館公式キャラクターである「こまとちゃん」(右図参照)の授業、バックヤードツアー実施など駒場図書館との協力を得て実施しています。

- アクティブラーニング形式の授業です!

少人数クラスで、毎回の授業形式は講義・個人作業・チーム作業から構成されています。講義だけでなく実際に図書館で足を運び資料を探す、授業資料のミニゲームを行うなど参加型の授業運営を行っています。さらに予復習用の課題を行うことで定着をはかります。

- 単位になります!!

「図書館の学び・活用・提案」は、教養学部主観科目「全学自由研究ゼミナール」として正統の授業として開講されています。東京大学教養学部1、2年生の学生は履修することによって単位取得(チームで1単位ずつ、合計2単位)が可能です。



駒場図書館公式キャラクター「こまとちゃん」

- 本授業はチーム(約1カ月半の学期区分)ごとに開講され、図書館の使い方を学ぶ前半チーム、学生協働を行う後半チームに分かれます。

前半チームでは、大学図書館をよりよく利用するための実習を行います。具体的には、1. 駒場図書館の概要を知ること、2. 学習や研究のための図書館の活用方法(参考図書データベースやレファレンスサービス等)を学ぶこと、3. 情報を探すための基本的なデータベースの使い方や学習すること(学外ネットワーク認証の利用を含む)を通して、学内で利用可能な学習のための図書館のサービスを使いこなすことが目標です。

授業内容例 (2019年度A1チーム)

回	内容
第1回	ガイダンスと導入ワークショップ → 駒場図書館の使い方は?
第2回	図書館が提供する資料の種類、集積場所の紹介、開館・閉館の紹介 (1)
第3回	図鑑・雑誌探し (2) → 参考図書データベースの使い方
第4回	授業実習 (1) 学外ネットワークデータベースの使い方
第5回	授業実習 (2) 論文探し、データベースを利用したチーム対抗ゲーム
第6回	文献管理ツール(EndNote、レファレンスサービス)の活用 (1)
第7回	レファレンスサービス(レファレンス) (2) → まとめ

後半チーム 授業成果発表の例

- 2017年度S2チームと2018年度A2チームでは、駒場図書館の新たなサービスについて提案するプレゼンテーション発表を行いました。

「図書館の学び・活用・提案2」S2チーム成果発表会
開催日時: 2017年7月11日 (火)
場所: 初年度学生センター
内容: 学生による提案プレゼンテーション
1年生を招ける図書館
データベースを活用しよう

- 2017年度A2チームや2018年度S2チーム、2019年度S2チームでは、駒場図書館展示スペースを有効活用し、駒場図書館蔵資料を紹介するためのパネル展示を行いました。

「図書館の学び・活用・提案2」A2チーム成果発表会
開催日時: 2018年11月10日 (土)
場所: 駒場図書館 1F展示スペース
内容: 学生チームによる図書館紹介のパネル展示
「フューニエタリア・オペラ」
「日本と世界の氷菓館の歴史」
「日本の書道」

「図書館の学び・活用・提案2」S2チーム成果発表会 (2019/7/18-19)
場所: 駒場図書館 1F展示スペース
内容: 学生チームによる図書館紹介のパネル展示
「日常的なスケジュールシミュレーションから心理学を考える」
「創作のススメ」



2017年度A2チーム展示会 (1:本館の書道)、(2:本館の1F展示スペース) 2018年度S2チーム展示会 (1:本館の書道)、(2:本館の1F展示スペース) 2019年度S2チーム展示会 (1:本館の書道)、(2:本館の1F展示スペース)

授業内容例 (2019年度S2チーム実施分)

回	内容
第1回	ガイダンスと学生協働に関する導入講座、ピリオド準備
第2回	ピリオド準備
第3回	駒場図書館バックヤード見学、資料の取扱い
第4回	紹介実習 紹介のワークショップ (1)
第5回	紹介実習のワークショップ (2)
第6回	紹介実習のワークショップ (3) → 展示準備
第7回	展示実習のプレゼンテーション発表会、まとめと振り返り

こまとちゃんゼミナール 履修者の声 (授業感想から抜粋)

- 参考文献を探すとき、今までのように「なんとなく」探すのではなく、調べたい内容に関連したデータベースを用いたり、わからない専門用語が出てきた際に百科事典で調べたり、と本当に助かっています。
- 調べた文献が見つからなかった場合に、レファレンスサービスを利用するなどの方法があることを知り、さらに情報入手の方法が拡大しました。今後は大学生活において、図書館を利用し情報収集する場合には、この授業で得られた情報収集スキルを存分に活かせると思います。
- この授業で学んだことは即その週のALESA [注:東京大学教養学部の英語科目]の課題に活用できていてそのおかげで比較的他の人よりも効率的に資料を集めることができていると思います。

「図書館の学び・活用・提案」へのお問い合わせ先: yokamoto@komex.c.u-tokyo.ac.jp (東京大学教養学部社会連携部門特任講師 岡本 佳子)

日常的なスケジュールシミュレーションを心理学、脳科学から考える

1) 心理学、脳科学から考える
2) 心理学、脳科学から考える
3) 心理学、脳科学から考える

創作のススメ

1) 心理学、脳科学から考える
2) 心理学、脳科学から考える
3) 心理学、脳科学から考える

授業成果
展示の例
(2019年度)

